

申立書類については、提出する分とは別に、控え（コピー）をとっておいてください。

## 破産・免責申立書

平成 年 月 日

印紙 郵券	900円 円
係 印	備 考

印紙900円  
を貼って  
ください

ふりがな

申立人氏名.....(旧姓.....:旧姓で借入れした場合のみ)

生年月日.....明・大・昭・平.....年.....月.....日生(.....歳)

本.....籍.....別添戸籍謄本記載のとおり

現住所.....〒.....

電話番号.....(自宅).....-.....-.....

.....(職場).....-.....-.....

.....(携帯).....-.....-.....

住民票上の住所(現住所と異なる場合のみ記載してください。)

### 申立ての趣旨

- 1 申立人を破産者とする。
- 2 申立人(破産者)を免責する。

### 申立ての理由

申立人は、添付の債権者一覧表のとおり債務を負担していますが、添付の資産等目録及び陳述書記載のとおりこれを支払うことができません。また、申立人の有する財産では破産手続の費用を支払うことができません。

申立人.....

東京地方裁判所 民事第20部 御中

うその事実を記載したり、記載に不備があると、免責が認められないことがあります。

\* 該当する部分を○で囲み、必要事項を書いてください。書く欄が不足した場合は、A4サイズの用紙に横書きで書いて、後ろに付けてください。  
提出すべき資料は、太字で記載されています。  
資料を用意したら、□にチェックして、順番に並べて提出してください。

## 資 産 等 目 録

- 1 公的扶助（生活保護、各種扶助、年金など）を受けていますか。【 有 無 】

種 類 (生活保護等)	1か月あたりに 受取っている金額	開 始 時 期	受給者の名前
	円	昭・平 年 月頃	
	円	昭・平 年 月頃	
	円	昭・平 年 月頃	

受給証明書（複数ある場合は全て）のコピーを提出してください。

- 2 破産申立ての日現在、持っているもの（資産）を書いてください。

1	不動産	<p>不動産（土地、建物、マンションなど）を持っていますか。 【 有 無 】</p> <p>土地..... 筆 所在.....</p> <p>建物..... 棟 所在.....</p> <p>マンション..... 寓 所在.....</p> <p>※ 不動産の時価は、約.....万円です。 抵当権等の付いた債務の残額は、約.....万円です。</p>
---	-----	--

登記簿謄本を提出してください。

不動産の時価が分かる書面（近隣の不動産業者作成の査定書、競売の評価書など）を提出してください。

2	現金	現在、持っている現金はいくらですか。  <div style="text-align: right;">円</div>																		
3	預貯金	<p>自分名義の預貯金口座について、申立前2週間内に記帳して確認した結果に基づいて書いてください。残額が0円でも書いてください。</p> <table border="1" data-bbox="519 524 1345 909"> <thead> <tr> <th data-bbox="519 524 801 591">銀行・郵便局名</th> <th data-bbox="801 524 1063 591">口座番号</th> <th data-bbox="1063 524 1345 591">申立時の残額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </tbody> </table>	銀行・郵便局名	口座番号	申立時の残額			円			円			円			円			円
銀行・郵便局名	口座番号	申立時の残額																		
		円																		
		円																		
		円																		
		円																		
		円																		

- 各通帳のコピー（表紙を含む全ページ・過去2年分）を提出してください。
- 最終取引日が破産申立日から1か月以上前である場合には、金融機関が作成する取引明細書を提出していただく場合もあります。
- 通帳に一括記帳（省略）がある場合には、省略部分につき、金融機関の取引明細を提出してください。

4	保険	<p>自分が契約者となっている保険（生命保険、簡易生命保険、傷害保険、火災保険、車両保険など）がありますか。 【 有 無 】</p> <p>仮に、今、保険を解約したら、いくら返金されるかについても、下の解約返戻金額の欄に書いてください。</p> <p>* 確定申告書、源泉徴収票などに生命保険料の控除がある人、家計全体の状況に保険掛金の支出がある人は必ず書いてください。</p> <table border="1" data-bbox="519 1588 1397 1912"> <thead> <tr> <th data-bbox="519 1588 738 1655">保険会社名</th> <th data-bbox="738 1588 934 1655">保険の種類</th> <th data-bbox="934 1588 1146 1655">証券番号</th> <th data-bbox="1146 1588 1397 1655">解約返戻金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </tbody> </table>	保険会社名	保険の種類	証券番号	解約返戻金額				円				円				円				円
保険会社名	保険の種類	証券番号	解約返戻金額																			
			円																			
			円																			
			円																			
			円																			

- 保険証券のコピーを提出してください。
- 申立時の解約返戻金計算書を提出してください。失効した場合にはその証明書を提出してください（いずれも保険会社に作成してもらってください。）。

5	退職金 (見込額)	仮に今、退職したとしたら、退職金が支払われますか。 <div style="text-align: right;">【 有 無 】</div> 退職金が支払われる場合、その金額はいくらですか。 <div style="text-align: right;">約.....円</div>
---	--------------	--

会社作成の証明書（退職金計算書）のコピーを提出してください。

6	貸付金	お金を貸して、返してもらっていないものがありますか。 <div style="text-align: right;">【 有 無 】</div>																				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">相手の名前</th> <th style="width: 30%;">時 期</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 25%;">回収の見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	相手の名前	時 期	金 額	回収の見込み		昭・平 年 月頃	円			昭・平 年 月頃	円			昭・平 年 月頃	円			昭・平 年 月頃	円	
相手の名前	時 期	金 額	回収の見込み																			
	昭・平 年 月頃	円																				
	昭・平 年 月頃	円																				
	昭・平 年 月頃	円																				
	昭・平 年 月頃	円																				

契約書その他貸付金の根拠となる書面のコピーを提出してください。

7	売掛金 など	商品や請負の代金、その他の債権で未回収のものがありますか。 <div style="text-align: right;">【 有 無 】</div>																				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">相手の名前</th> <th style="width: 30%;">時 期</th> <th style="width: 15%;">金 額</th> <th style="width: 25%;">回収の見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月頃</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	相手の名前	時 期	金 額	回収の見込み		昭・平 年 月頃	円			昭・平 年 月頃	円			昭・平 年 月頃	円			昭・平 年 月頃	円	
相手の名前	時 期	金 額	回収の見込み																			
	昭・平 年 月頃	円																				
	昭・平 年 月頃	円																				
	昭・平 年 月頃	円																				
	昭・平 年 月頃	円																				

売買契約書、請求書その他売掛金の根拠となる書面のコピーを提出してください。

8	積立金 など	社内預金、財形貯蓄、事業保証金などの積立てをしていますか。	【 有 無 】		
		*給与明細書に財形貯蓄などの記載がある人は、必ず書いてください。			
		種 類	開 始 時 期	金 額	
			昭・平 年 月 頃	円	
	昭・平 年 月 頃	円			
	昭・平 年 月 頃	円			

積立金額が分かる書面のコピーを提出してください。

9	有価証券	手形、小切手、株、転換社債、ゴルフ会員権などを持っていますか。	【 有 無 】		
		種 類	取 得 時 期	金 額	
			昭・平 年 月 頃	円	
	昭・平 年 月 頃	円			
	昭・平 年 月 頃	円			

各証券のコピーを提出してください。

10	自動車 バイク など	自動車やバイクなどを持っていますか。	【 有 無 】			
		*家計全体の状況で、ガソリン代の支出のある人は忘れずに書いてください。				
		車 名	年 式	購 入 時 期	購 入 価 格	
				昭・平 年 月 頃	円	
		昭・平 年 月 頃	円			
		昭・平 年 月 頃	円			

自動車検査証又は登録事項証明書のコピーを提出してください。

購入価格が分かる書面（契約書など）のコピーを提出してください。

11	購入価格 が、20万円 以上の物	貴金属、美術品、パソコン、着物、その他のもので																		
		購入価格が20万円以上のものを持っていますか。【 有 無 】																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 物</th> <th>取 得 時 期</th> <th>購 入 価 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> </tbody> </table>	品 物	取 得 時 期	購 入 価 格		昭・平 年 月 頃	円		昭・平 年 月 頃	円		昭・平 年 月 頃	円		昭・平 年 月 頃	円		昭・平 年 月 頃	円
		品 物	取 得 時 期	購 入 価 格																
			昭・平 年 月 頃	円																
			昭・平 年 月 頃	円																
			昭・平 年 月 頃	円																
	昭・平 年 月 頃	円																		
	昭・平 年 月 頃	円																		

12	電話加入権	普通、携帯、PHS電話を持っていますか。 【 有 無 】																								
		合計 ..... 本 内訳 .....																								
13	事業設備 在庫商品 什器備品	事業で使用していた設備、在庫商品、什器備品などがありますか。 【 有 無 】																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>個数</th> <th>購 入 時 期</th> <th>時 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>昭・平 年 月 頃</td> <td>円</td> </tr> </tbody> </table>	品 名	個数	購 入 時 期	時 価			昭・平 年 月 頃	円			昭・平 年 月 頃	円			昭・平 年 月 頃	円			昭・平 年 月 頃	円			昭・平 年 月 頃	円
		品 名	個数	購 入 時 期	時 価																					
				昭・平 年 月 頃	円																					
				昭・平 年 月 頃	円																					
				昭・平 年 月 頃	円																					
				昭・平 年 月 頃	円																					
		昭・平 年 月 頃	円																							

14	過去2年間に処分・受領した財産	過去2年間に処分・受領した財産で <u>20万円以上</u> の価値のあった物をすべて書いてください。 不動産や自動車の売却、保険の解約、定期預金の解約、ボーナスや退職金、敷金の受領などについても書いてください。
----	-----------------	---

品物	処分・受領時期	入手額	使いみち	処分の相手方
	平 . 頃	円		
	平 . 頃	円		
	平 . 頃	円		
	平 . 頃	円		
	平 . 頃	円		
	平 . 頃	円		

- 処分を証明する資料（契約書や領収書のコピーなど）を提出してください。
- 不動産を処分した場合には、登記簿謄本を提出してください。

15	相続	誰かの財産を相続したことがありますか。 【有 無】 どのような財産を相続しましたか。 * 相続財産には、遺産分割が終了していないものも含まれます。
----	----	---

亡くなった人	関係	相続時期	相続した財産	保管している人
		平 . 頃		
		平 . 頃		

# 陳 述 書

申立人



## 第 1 経歴等

- 1 過去10年前から現在に至る経歴を古い順に書いてください。

時 期	<input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> アルバイト <input type="checkbox"/> その他
就業先(会社名など)	地位・仕事の内容
年 月～ 年 月	<input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> アルバイト <input type="checkbox"/> その他
年 月～ 年 月	<input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> アルバイト <input type="checkbox"/> その他
年 月～ 年 月	<input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> アルバイト <input type="checkbox"/> その他
年 月～ 年 月	<input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> アルバイト <input type="checkbox"/> その他
年 月～ 年 月	<input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> アルバイト <input type="checkbox"/> その他
年 月～ 年 月	<input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 勤め <input type="checkbox"/> アルバイト <input type="checkbox"/> その他

- 2 現在の仕事は何ですか。

無 職     自 営     勤 め     アルバイト

就職(起業)した時期 昭・平.....年.....月

勤務先.....

地位・仕事の内容.....

給料・収入.....月・年約.....万円.....ボーナス 年約.....万円

- \*  最近2か月分の給与明細書のコピーと、源泉徴収票又は区役所発行の課税証明書(所得控除の記載があるもの)のコピーを提出してください。
- \*  現在、事業を営んでいる人、または過去2年以内に事業を営んでいたことがある人(会社の代表者を含む)は、事業(事業内容、負債内容、従業員の状況など)に関する陳述書と、自営の場合は過去2年分の所得税の確定申告書のコピーを、会社代表者の場合は過去2年分の事業年度分の確定申告書及び決算報告書のコピーを提出してください。



3 過去に離婚をしたことがありますか。 【ある・ない】

昭・平.....年.....月(相手の名前.....)

昭・平.....年.....月(相手の名前.....)

離婚の際に、財産分与（夫又は妻に財産をあげたり、その借金を肩代りした  
ことなど）をしたことがありますか。 【ある・ない】

相手の氏名..... 対象物..... 金額.....円

相手の氏名..... 対象物..... 金額.....円

不動産が対象となる場合には、登記簿謄本を提出してください。

## 第2 生活状況等

1 家族や同居人を書いて下さい。

氏名	関係	年齢	同居/別居	職業(月収)

2 現在、住んでいるところは、どのようなところですか。

★ 該当するア～エに○を付け、点線部分に記載してください。

ア 賃貸/社宅/寮 1か月の家賃.....円 敷金.....円

イ 自己所有の家屋

ウ 親族所有の家屋 所有者.....関係.....

エ その他.....

アに該当する人は、賃貸借契約書のコピー、住宅使用許可書のコピー、社宅・寮の場  
合はそれを証する客観的資料を提出してください。

他人の所有家屋に住んでいる人は、所有者作成の居住証明書（申立人がその家屋に住  
んでいることを証明する内容の書面）を提出してください。

### 第3 借金を支払うことができなくなった事情

1 初めて借金をしたり、クレジットカードで買い物をしたのはいつですか。

- ① 時期 昭・平.....年.....月頃  
② 金額 .....円  
③ 当時の職業 .....月収 .....万.....円  
④ このお金（商品）の使い道  
.....  
.....  
.....

- ⑤ この借金は、現在、  残っています。  全額支払いました。  
⑥ この商品は、現在、  残っています。  処分しました。

2 多額の借金をした理由は何ですか。

次の①～⑦の中から、あてはまるもの（複数にあてはまる場合はその全て）を選んでチェックし、さらに⑧に具体的な事情を書いてください。

① 生活費が足りなかったためです。

\* 当時の職業、収入（月収）及び生活費が足りなくなった具体的な理由を、⑧に書いてください。

② 飲食、飲酒、旅行、趣味としての商品購入（絵画、パソコン、服、健康器具等）、ギャンブル、風俗、エステなどにお金を使いすぎたためです。

\* 具体的な事情（いつ頃、何に、いくら使ったか、購入した商品、動機など）を⑧に書いてください。

③ 事業（店）の経営に失敗したためです。

事業資金として使用した金額 合計.....円

\* 事業内容（会社名、店名、取引の仕組み、従業員数、売上高など、事業（店）の経営に失敗した理由など）を⑧に書いてください。

④ 仕事上の接待費の立替払い、契約金の立替払い、営業の穴埋めなどによる借金が支払えなくなったためです。

当時の職業 .....月収 .....円

\* 具体的な事情（仕事上の借金の内容、額、その理由など）を、⑧に書いてください。

⑤ 住宅ローンが払えなくなったためです。

ア 当時の職業 .....月収 .....円

イ 購入物件 土地 建物 マンション その他 .....

ウ 購入時期 昭・平 .....年 .....月頃

エ 購入金額 合計 .....円

オ 月々の返済金額 .....円

\* 住宅ローンが支払えなくなった具体的な事情を⑧に書いてください。

⑥ 他人（会社を含む）の借金を保証したためです。

主たる債務者	関係	保証時期	保証金額	現在残額
		昭・平 年 月頃	円	円
		昭・平 年 月頃	円	円
		昭・平 年 月頃	円	円
		昭・平 年 月頃	円	円
		昭・平 年 月頃	円	円

⑦ その他の事情

\* 具体的な事情を⑧に書いてください。

⑧ それぞれの具体的な事情は、次のとおりです。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3① 借金を全額は返済できないと思い始めた時期は、  
平成.....年.....月頃からです。

- ② その理由： 利息が増えて支払うべき額が収入を超えるようになった。  
 収入が減った。勤務先を解雇された。  
 借金の申込みを断られた。  
 その他.....

③ その後、借金をしたり、クレジットカードを使ったことが【ある・ない】  
時期.....平成.....年.....月.....金額.....円  
借入先.....

④ 借金の返済ができないと思い始めてから、一部の債権者に支払ったことが  
【ある・ない】

債権者名	時 期	支払金額
	昭・平 年 月頃	円
	昭・平 年 月頃	円
	昭・平 年 月頃	円
	昭・平 年 月頃	円

⑤ 手形不渡りを出したこと、又は銀行取引停止処分を受けたことが

【ある・ない】

手形所持人	時 期	手形金額	事 由
	昭・平 年 月頃	円	不渡・取引停止
	昭・平 年 月頃	円	不渡・取引停止

4 今回の破産申立費用の調達方法

- 自分の給料     .....からの援助     年金など  
 .....からの借入れ     その他.....

第4 債権者との状況

1 債権者と借金の支払方法について話し合いをしたことが 【ある・ない】

弁護士に頼んで、交渉してもらった。

簡易裁判所の調停

その他 .....

その結果、話し合いが成立した債権者数 .....社（人）

支払った期間 昭・平...年...月頃 から昭・平...年...月頃まで

毎月の支払総額 .....円

支払の内訳 .....

2 訴訟、支払督促、差押え、仮差押えを受けて 【いる・いない】

裁判所名	種類	事件番号	相手方

訴状、差押・仮差押決定書などのコピーを提出してください。

## 第5 これまでの生活状況等

次の1～8の中から、あてはまるもの（複数にあてはまる場合はそのすべて）を選んで、チェックしてください。

- 1 過去10年間にバー、クラブ、スナック、風俗、エステなどに行ったことがある。
- 2 ギャンブル（パチンコ、競馬、競輪、麻雀等）をしたことがある。
- 3 投資、投機（株式、マンション、先物取引）をしたことがある。
- 4 過去5年間に海外旅行に行ったことがある。
- 5 過去5年間に10万円以上の物を買ったことがある。
- 6 カードで買った商品をお金に換えたり、質入れしたことがある。
- 7 他人の名前を無断で使ったり、生年月日、住所、借金総額や返済予定などをうそをついて借入れをしたことがある。
- 8 過去に、破産宣告を受けたことがある。

上記1～8であてはまるものについて具体的に記載してください。

1～3 バー、クラブ、スナック、風俗、エステ、ギャンブル、投資、投機

\* 内容の欄には、「バー」「パチンコ」などを書いてください。

内 容	行っていた時期	回数		使った金額			
		月約	回	月	円	合計	万円
	～	月約	回	月	円	合計	万円
	～	月約	回	月	円	合計	万円
	～	月約	回	月	円	合計	万円
	～	月約	回	月	円	合計	万円
	～	月約	回	月	円	合計	万円
	～	月約	回	月	円	合計	万円

4 海外旅行

行き先	旅行時期	費用	目的
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	

5 10万円以上の物の購入

品名	購入時期	価格	品物のある場所
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	

6 カードで買った商品の換金

品名	購入時期	購入価格	換金時期	換金額
	平 年 月頃	円	平 年 月頃	円
	平 年 月頃	円	平 年 月頃	円
	平 年 月頃	円	平 年 月頃	円
	平 年 月頃	円	平 年 月頃	円

そのときの具体的な事情は、次のとおりです。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

7 他人の名前を使った借入れ、生年月日、住所、借金額や支払予定についてうそをついた借入れ

借入先	借入時期	借入金額	うそをついた点
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	
	平 年 月頃	円	

そのときの具体的な事情は、次のとおりです。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

8 過去の破産宣告

時 期 昭・平 ..... 年 ..... 月頃

裁判所名 ..... 地方裁判所 ..... 支部

免責許可の決定を受けたことが

ある：平 ..... 年 ..... 月頃 ..... 地方裁判所 ..... 支部

ない：

その理由  免責申立てをしなかった。

免責申立てをしたが、取り下げた。

却下又は不許可になった。

審尋に行かなかった。（その理由 .....）

その他 .....

破産宣告決定及び免責決定書のコピーを提出してください。



## 家計全体の状況①

(平成 年 月分)

- \* 申立直前の2か月分の状況を提出します。
- \* 「交際費」「娯楽費」その他多額の支出は、具体的内容も記入します。
- \* 「保険料」のある人は、( )に保険契約者の名前も記入します。
- \* 「駐車場代」「ガソリン代」のある人は、( )に車両の名義人も記入します。

収入			支出		
費目	金額(円)		費目	金額(円)	
給料・賞与	申立人		家賃(管理費も含む)		
給料・賞与	配偶者		地代		
給料・賞与			食費		
自営収入	申立人		水道光熱費		
自営収入	配偶者		電話代		
自営収入			新聞代		
年金	申立人		保険料( )		
年金	配偶者		駐車場代( )		
年金			ガソリン代( )		
生活保護			医療費		
児童手当			教育費		
他の援助	(援助者名)		交通費		
その他			被服費		
			交際費		
			娯楽費		
			返済(対業者)		
			返済(対親戚・知人)		
			返済		
			日用品		
			その他		
収入合計			支出合計		

## 家計全体の状況②

(平成 年 月分)

- \* 申立直前の2か月分の状況を提出します。
- \* 「交際費」「娯楽費」その他多額の支出は、具体的内容も記入します。
- \* 「保険料」のある人は、( )に保険契約者の名前も記入します。
- \* 「駐車場代」「ガソリン代」のある人は、( )に車両の名義人も記入します。

収 入			支 出		
費 目	金額 (円)		費 目	金額 (円)	
給料・賞与	申立人		家賃 (管理費も含む)		
給料・賞与	配偶者		地代		
給料・賞与			食費		
自営収入	申立人		水道光熱費		
自営収入	配偶者		電話代		
自営収入			新聞代		
年金	申立人		保険料 ( )		
年金	配偶者		駐車場代 ( )		
年金			ガソリン代 ( )		
生活保護			医療費		
児童手当			教育費		
他の援助	(援助者名)		交通費		
その他			被服費		
			交際費		
			娯楽費		
			返済 (対業者)		
			返済 (対親戚・知人)		
			返済		
			日用品		
			その他		
収入合計			支出合計		

## 債 権 者 一 覧 表 ( 枚 中 枚 目 )

- ◎「現在の残元金利息合計」欄は、あなたが行った債権譲渡の結果を書いてください。なお、記入した金額を裏付ける書面（残高証明書など）の提出を求められる場合もあります。
- ※借入/購入年月日の古いものから書いてください。 勤務先からの借入れ、家賃の滞納分、生命保険会社からの契約者買付、親族からの借入れなども忘れず書いてください。
- ※「原因」欄には、A=現金の借入れ、B=物品購入、C=保証、D=その他、のいずれかの記号を書いてください。
- ※「使途」欄には、借入金を何に使ったのか、何を買ったのか、誰の債務を保証したのかなど、具体的な使い道を書いてください。
- ※債権者が11名以上いる場合には、あらかじめ本紙をA4判でコピーして全債権者について記入し、最後の用紙に債権者合計・現在の残元金合計を書いてください。
- ※同じ債権者から何回も借入れている場合には、初めて借り入れた時期に、金額、使途などをまとめて書いてください。

番号	債権者名	債権者住所	借入/購入年月日	借入総額	原因	使途	最後の返済日	現在の残元金 利息合計
1			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
2			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
3			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
4			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
5			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
6			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
7			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
8			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
9			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円
10			昭・平 年 月 日	借 万 円			昭・平 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 1度も返済していない	借 万 円

債権者合計

人(社)

現在の残高合計

借 万 円

# 破産申立書 Q & A

～～申立書を作成する前に～～

## Q1 申立ての際、何を用意すればよいのですか？

A1 以下のものがが必要です。申立ての際に必ずご用意ください。

①戸籍謄本（抄本でも可）／外国人登録済証明書

②住民票（家族全員の記載があるもの）

③破産予納金 2万円

④収入印紙900円

⑤郵便切手4000円

内 400円×5

80円×24

訳 10円×8

※印紙と切手は、裁判所地下1階の郵便局で購入できます。

⑥疎明資料のコピー（通帳、借入先からの残高証明書のコピーなど）

## Q2 申立書を書くときに注意することは・・・？

A2 裁判所は申立書を見て、破産宣告や免責決定をするかどうか判断します。申立書はご本人が、ありのままに書いてください。

資産があるにもかかわらず記載しなかったり、債権者一覧表に不備があると、あなたに対する免責（債務返済の責任を免除すること）が認められないことがあります。

## Q3 「破産・免責申立書」（P1）の記載方法を教えてください。

A3 「本籍」欄は、戸籍謄本が付けてあれば何も記載する必要はありません。

「現住所」とは、あなたが実際に住んでいる場所のことです。必ずアパート名、部屋番号まで書いてください。

「電話番号」は平日の昼間に確実に連絡のとれる電話番号にチェック（）してください。

「住民票上の住所」欄は、実際に住んでいる場所と住民票に記載された住所が異なる場合にのみ書いてください。この場合、実際の住所の住居表示がわかるもの（公共料金の請求書などのコピー）をご提出ください。

## Q4 「資産等目録」（P2～7）を記載する際には、どんなことに注意すればよいのですか？

A4 質問には必ず【有 無】のどちらかに○印をつけて教えてください。

資産が無いからといって、何も記載されていないと書類の不備と見なされる場合があります。

不動産、自動車などがあなた名義で登記・登録されている場合には、実際にあなたが使用していても記載し、その理由を書いた用紙（A4判）を添付してください。また、資産があるのに疎明資料を提出できない場合も、同様に「理由書」をつけてください。

通帳のコピーは、コピーをした用紙のまま提出してください。通帳の大きさに切り取る必要はありません。

## Q5 「陳述書」（P8～16）を記載する際、注意することはありますか？

A5 「第3. 借金を支払うことができなくなった事情」（P10～）は、あなたの破産申立てを認めるかどうかの重要な資料となります。できるだけ詳しく書いてください。

書く欄が足りないときは、同じ大きさの用紙（A4判）に書いて、陳述書の直後につけてください。

Q 6 「家計全体の状況①、②」(P 17, 18)の書き方がわからないのですが・・・

A 6 あなたがご家族と同居している場合には、世帯全体の収入と支出がわかるように、ご家族の分も合計して、2か月分を書く必要があります。

Q 7 「債権者一覧表」(P 19)を記載する時の注意事項は？

A 7 債権者が11名以上の場合、最初に必要枚数をコピーしてください。  
「債権者一覧表」は、あなたが債権者に問い合わせるなどの調査をした結果に基づいて、全債権者について記載もれのないように確実に書いてください。

なお、場合によっては、「現在の残元金利息合計」欄に記入した金額を裏付ける疎明資料(借入先からの残高証明書など)を提出していただく場合もあります。

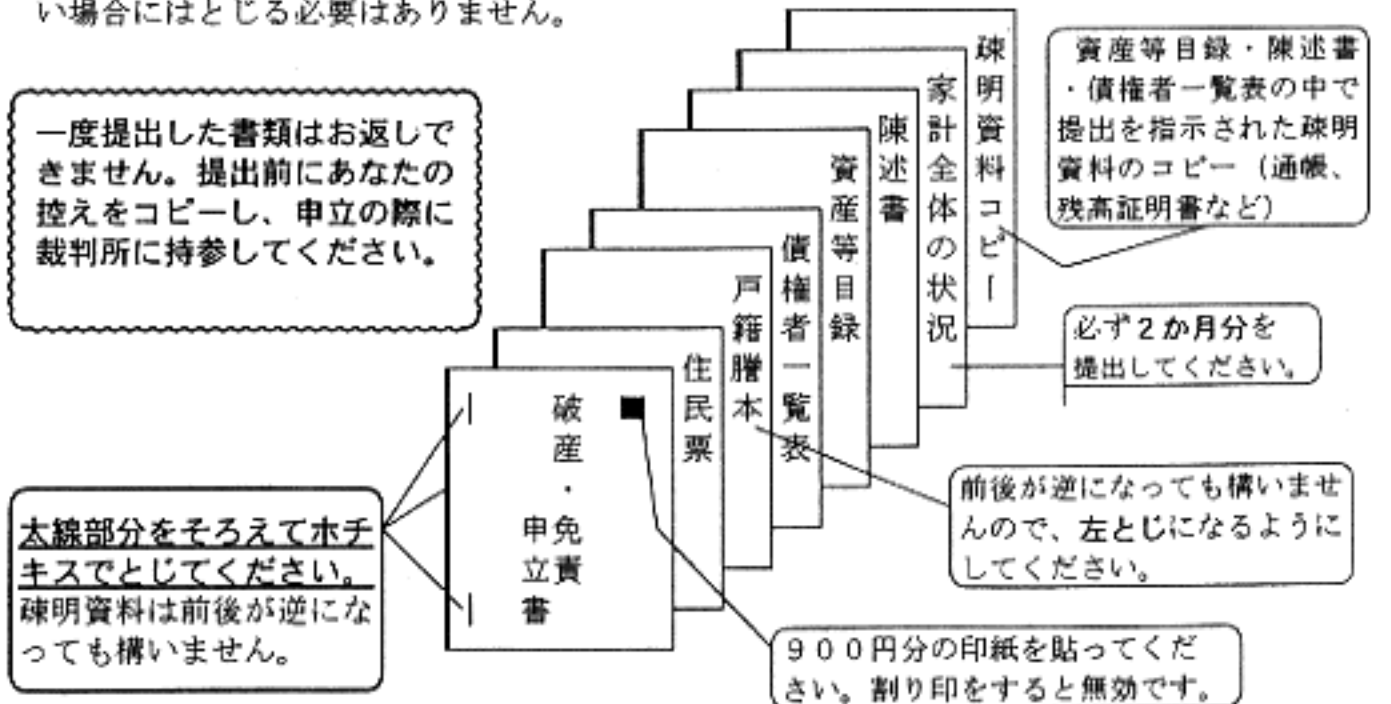
「債権者一覧表」の上部分に詳しい記載の説明がありますので、必ずご覧ください。

Q 8 申立書を書き間違えてしまったのですが・・・

A 8 間違えた部分に斜線を引き、その上から訂正印(1ページ目に押した印鑑と同じもの)を押してください。

Q 9 書き終えた書類や疎明資料のコピーはどの順番でとじればよいのでしょうか？

A 9 下図の順番で用紙の左側をホチキスでとじてください。用紙が厚かったり、ホチキスがな  
い場合にはとじる必要はありません。



Q 10 申立書の受付時間は何時までですか？

A 10 申立ての際には書類審査や予納金納付のため、ある程度時間がかかります。  
平日午前9時～11時30分、午後1時～3時までの間(但し、午後は大変混みあいます)の申立てにご協力ください。(午後4時以降は予納金納付ができません。)